

「メタ観光マップ」を活用したにぎわい・回遊性の創出プロジェクト

中間報告

みずほ銀行 unerry メタ観光推進機構

／本プロジェクトの取り組み

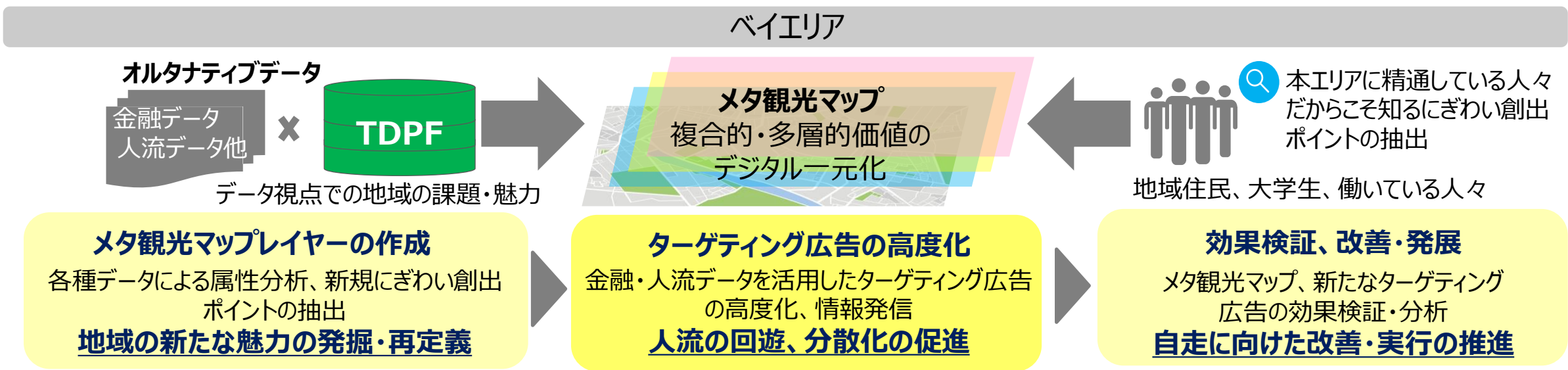
- プロジェクト概要
- 活用データ
- データによる分析
- 作成したメタ観光マップ
- 開催イベント
- 広告・プロモーション

／TDPFの魅力

／TDPFを通じた今後の事業発展

プロジェクトの概要

■スマート東京先行実施エリアである「ベイエリア」において、「オープンデータ×金融データ×人流データ」を活用し、複合的・多層的価値を持つ「メタ観光マップ」*を作成・分析し、施策実施を通じて「にぎわい創出」や「人流の回遊性」向上を目指す



住むひと

- 地域のまだ知られていない魅力、潜在ニーズの発掘
- 地域コミュニティ連携の推進

働くひと

- 仕事だけでない新たに訪れてみたい魅力的なスポット・コンテンツの発見

訪れるひと

- 特定のスポットやイベントだけでなく、新たに訪れたい魅力的なスポット・コンテンツの発見

他エリア・自治体

- まちづくり、にぎわい創出における先進ユースケースとしての活用・展開

*「メタ観光マップ」・・・歴史・文化・自然など、地域の多様な魅力や価値ある情報をレイヤー（層）として地図上に重ねて表示することで、これまで認識されていなかった観光資源を可視化するオンライン地図

ケーススタディ事業で活用するデータ 金融データ×人流データ×オープンデータ

金融データ@みずほ銀行

- ・みずほ銀行が保有する**各種金融取引等の統計データ**を提供（国内邦銀ではみずほのみ）
- ・**個人口座2,000万**以上、クレジット会員のビッグデータを日次単位から活用可能

年収統計

- ・**エリアごとの年収**収入（手取り）を国勢調査の人口比で統計化
金融資産の把握



ATM利用実態

- ・指定した駅周辺等の**ATM利用状況**を時間帯別に把握
- ・現金引き出し規模・利用者の居住エリアなどの把握が可能



支出消費統計

- ・**支出**：口座振替や振込を分類・統計化
- ・**消費**：MMC*、決済データ等の情報を業種別に統計化



人流データ@unerry

- ・**約1.5億DL**のスマホアプリに位置情報取得モジュールを提供。日々スマホユーザーの位置情報を収集
- ・人流ビッグデータを自社開発のAIBrainにより解釈・意味づけし、場所・人を深く理解する分析に活用

データの取得

GPS
屋外 屋内

Bluetoothビーコン
ビル内 地下 駐車場

ユーザー許諾済の提携アプリによる高精度位置測定
個人情報保護法・GPS・LCPAに準拠したユーザー登録済

端末ID	緯度	経度	時刻
1000	35.64183	139.75963	2015/6/13 10:01:34
1000	35.64105	139.75955	2015/6/13 10:01:50
...

- 全て許諾済み：位置情報の取得について、利用許諾が取れているデータ → リーガル面での懸念なし
- ID紐づき：IDで識別可能なスマートフォン位置情報データ → 移動手段・方向が把握可能
- 屋内/外シームレス：GPSとビーコンのハイブリッドでデータを取得 → 建物来訪等を正確に把握可能
- 加工容易性：メッシュ単位など所定の形状ではなく、柔軟に分析対象範囲を指定可能（円、任意の多角形（ポリゴン）など）
- データ規模：GPSデータのみで、月間400億件のデータ

人流データを用いた分析（一例）



オープンデータ

公共データ（一例）

- ・国勢調査人口等基本統計
- ・TOKYO WALKING MAP
- ・港区各種情報
- ・江東区各種情報

・・・その他

多数

民間公開データ（一例）

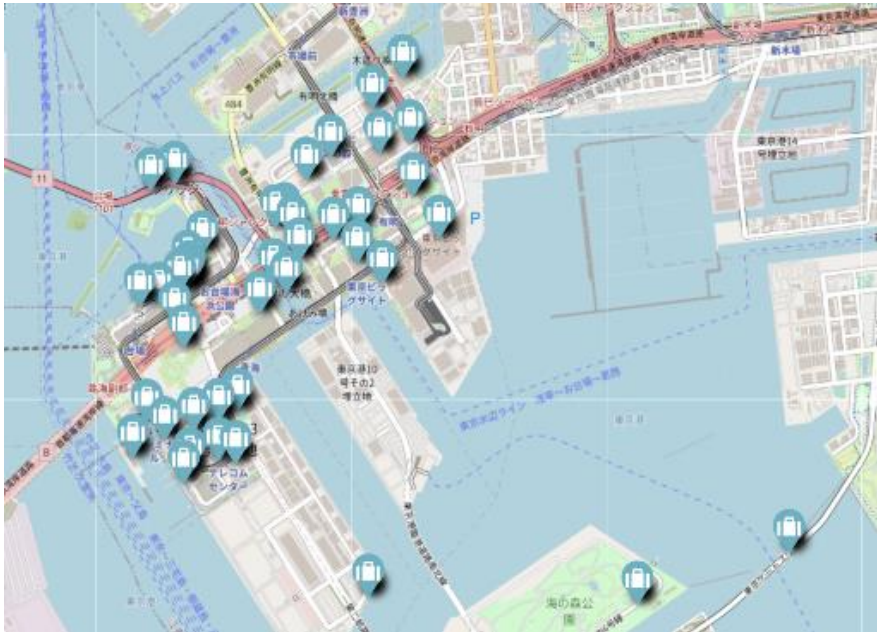
- ・東京お台場.net
- ・夜景遺産認定地：南関東
- ・アド街関連情報
- ・東京2020オリ・パラ関連情報

・・・その他多数

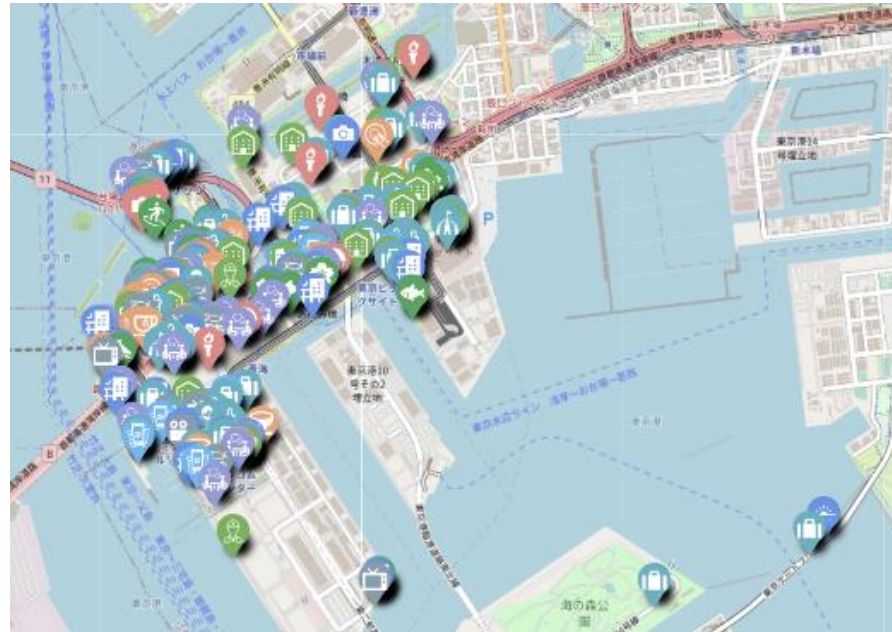
臨海副都心エリアの「メタ観光マップ」

本ケーススタディ事業を通じて、以下のような臨海副都心エリアの「メタ観光マップ」をリリース
従来の観光スポットと比較して、現代の多様化する人々の価値観を捉えた、**多くのにぎわい創出ポイントを創出**

一般的な観光スポット：44件



メタ観光マップ掲載スポット：320件



一つの場所に存在する多様な価値を可視化・一元管理し、まちの新たな魅力を発信

- ・歴史・文化
- ・ロケ地
- ・アニメ聖地
- ・ポケモンGO
- ・インスタ映え
- ・外国人人気 他

メタマップの考え方

「100万人集まる場所を一か所ではなく、
1万人集まる場所を100か所作る」



イベントを通じた住む人・働く人・訪れる人との連携、メタ観光マップの周知

- ◆ メタ観光マップの基盤をもとに、地元住民や企業、大学関係者などと連携し、メタ観光マップと一緒に作成するための**ワークショップ**を開催
- ◆ 本事業を通じて作成したメタ観光マップを幅広く認知いただき、使っていただけるためのきっかけとして**ガイドツアー・シンポジウム**を開催

【ワークショップの様子】

開催日：2023年10月15日
参加者：16名



【ガイドツアーの様子】

開催日：2023年10月28日午前
参加者：12名



【シンポジウムの様子】

開催日：2023年10月28日午後
参加者：65名（関係者含む）



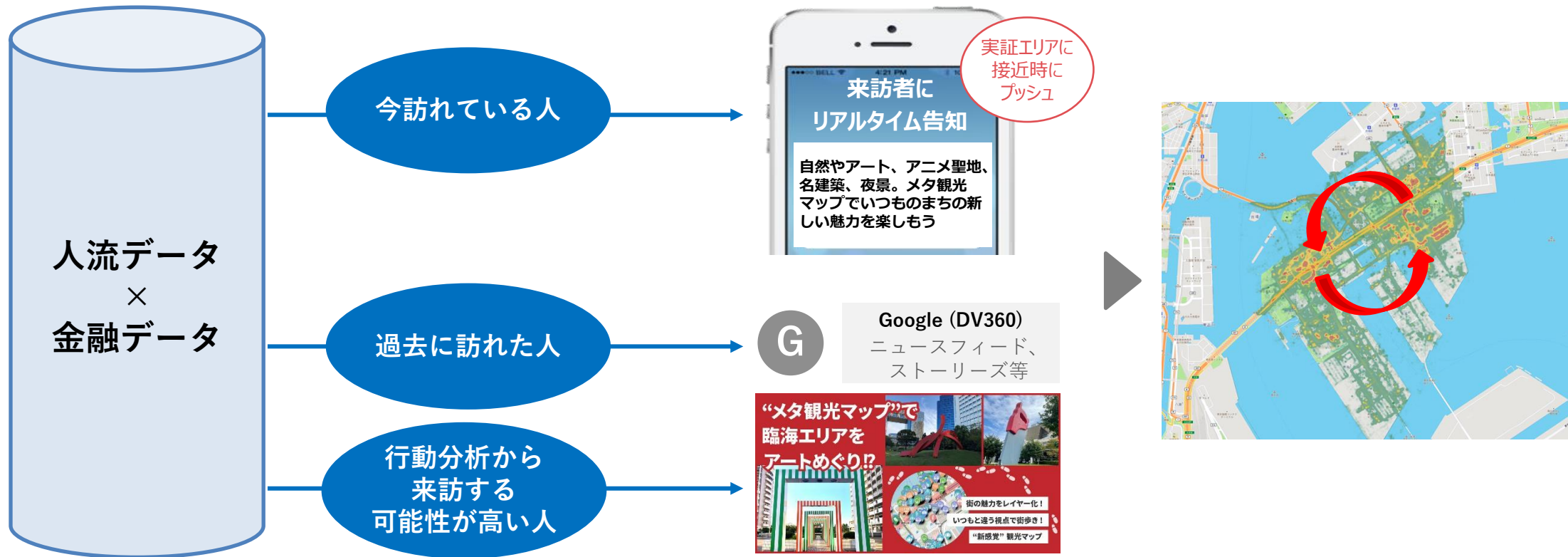
実証：リアルタイム告知とGoogle広告を用いたプロモーション

同日回遊率（※）を高めることを目標に、複数のメディアを使い分けた「メタ観光マップ」のプロモーションを実施

ターゲット・拠点分析

メタ観光MAPの認知拡大

効果測定



本ケーススタディ事業を通じて確認したTDPFの魅力

TDPFという「場」を通じて、みずほ銀行・Unerry・メタ観光推進機構の3社が集い、オープン×金融×人流データという新たなデータ活用に基づいたソリューションを提案することで、「場」の重要性を認識

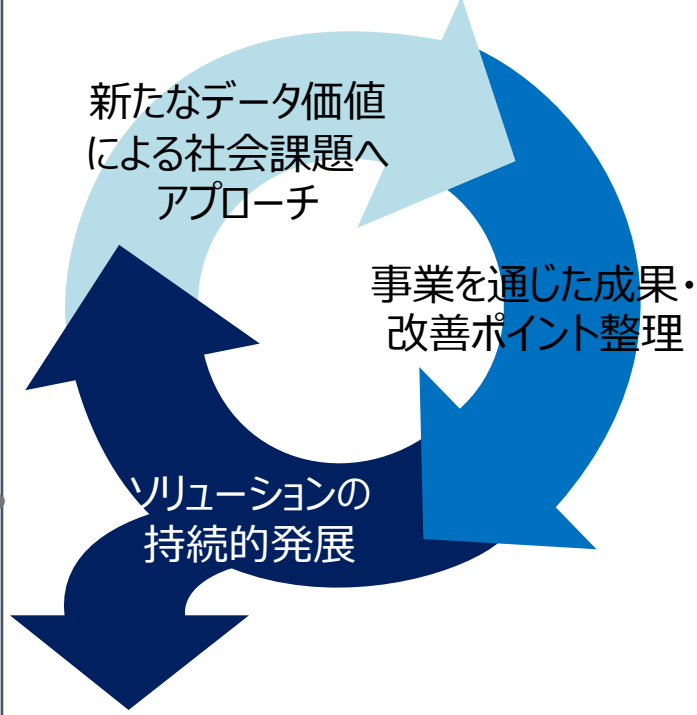
	TDPF	本ケーススタディ事業
【流れる】	<ul style="list-style-type: none">公共や民間などのデータが流通する場を提供	<ul style="list-style-type: none">みずほ銀行（金融機関）、unerry（スタートアップ）、メタ観光推進機構（一般社団法人）での協業
【つながる】	<ul style="list-style-type: none">データを提供する人・利用する人がつながるコミュニティの形成より多くのデータ・人の集積により新たなデータ利活用事例の創出を支援・加速	<ul style="list-style-type: none">ワークショップ、シンポジウム、ガイドツアーを通じたコミュニティ形成オープン×金融×人流のデータを掛け合わせた分析、メタ観光マップの作成・配信による臨海副都心のにぎわい創出
【進化する】	<ul style="list-style-type: none">東京のポテンシャルを引き出し、都民のQOL向上に資するデータ利活用の好循環を生み出すしくみ（＝スマート東京の実現）を目指す	<ul style="list-style-type: none">メタ観光マップによる隠れたスポットの発掘。発掘された魅力がオープンデータ化される好循環の実現一人ひとりにあった魅力の提案による利便性・満足度向上

東京データプラットフォーム（TDPF）

継続的なデータの利用
(データ利活用のケース積み上げ)

活用データの提供
(品揃えの拡大)

本ケースの継続サイクル（例）



オルタナティブデータ等の活用展開

新たなオープンデータ、オルタナティブデータを掛け合わせた分析、効果検証の発展・高度化
データ例：不動産、決済、POS、検索

他エリア・自治体へのモデル展開

先進ユースケースとして、他エリアや自治体での活用・発展
エリア展開：都内、全国自治体

まちづくりとしての用途展開

まちづくり支援としての活用・貢献の実現
活用例：イベント企画、企業誘致、インバウンド、商店街活性化、防災、インフラ など

データ利活用事業への応用・展開

データ利活用事業の付加価値向上を実現
活用例：商店街振興、キャッシュレス、スマートシティ、MaaS、過去の類似実証 など

TDPFを中心にした先進ユースケースの創出・展開、用途の多様化を実現